

四街道市一般廃棄物処理基本計画

令和5年度 年次報告書



令和6年12月

四街道市環境部廃棄物対策課

はじめに

本市は、平成 28 年 8 月に、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間を計画期間とした「一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。5 年が経過した令和 3 年度には、社会状況の変化などを踏まえ、計画策定時に定めた数値目標等の見直しや、ごみの減量化及び資源化に関する新たな取組を追加するなどした「四街道市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）」を策定し、これに基づき、計画的な一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理事業を実施するとともに、廃棄物の減量化及び資源化に努めてまいりました。

この報告書は、「一般廃棄物処理基本計画」の進行管理として、令和 5 年度における各種施策の取組実施状況の点検・評価を行い、その結果を取りまとめたものです。

目 次

第1章 点検・評価について

1	計画の概要	2
2	点検・評価の方法	3

第2章 施策の実施状況について(ごみ処理)

基本方針1	2Rを意識した3Rの推進	4
1-1	発生抑制・再使用・資源化の推進	4
1-2	3R推進のためのしくみづくり	7
基本方針2	市民・事業者・行政の協働	10
2-1	市民の取組	10
2-2	事業者の取組	12
2-3	行政の取組	13
基本方針3	適正処理の構築	15
3-1	収集・運搬の検討	15
3-2	中間処理施設の整備	16
3-3	最終処分の検討	17
3-4	適正な事業経営の推進	18

第3章 施策の実施状況について(生活排水処理)

基本方針1	生活排水処理の推進	19
1-1	公共下水道の普及	19
1-2	高度処理型合併処理浄化槽の普及	19
基本方針2	市民・事業者・行政の協働	20
2-1	市民の取組	20
2-2	事業者の取組	21
2-3	行政の取組	22
基本方針3	適正維持管理の推進	23
3-1	適正な収集・運搬体制の維持	23
3-2	中間処理施設の適正管理	23

第4章 指標の進捗状況について

第5章 まとめ

第1章 点検・評価について

1 計画の概要

「一般廃棄物処理基本計画」では、一般廃棄物処理のカテゴリを「ごみ処理」と「生活排水処理」の2項目に分類し、以下のとおりそれぞれの基本理念、基本方針及び具体的な施策・取組を定めています。

●ごみ処理

基本理念	
循環型社会形成推進に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～ 捨てる、でも減らす ごみ10%削減に挑戦 ～	
基本方針	中心となる施策
1 2Rを意識した3Rの推進	1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進
	1-2 3R推進のためのしくみづくり
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組
	2-2 事業者の取組
	2-3 行政の取組
3 適正処理の構築	3-1 収集・運搬の検討
	3-2 中間処理施設の整備
	3-3 最終処分の検討
	3-4 適正な事業経営の推進

●生活排水処理

基本理念	
水環境の保全に向けて市民・事業者・行政が協働して取り組み、環境にやさしいまちの実現へ ～ 生活排水処理率100%に挑戦 ～	
基本方針	中心となる施策
1 生活排水処理の推進	1-1 公共下水道の普及
	1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及
2 市民・事業者・行政の協働	2-1 市民の取組
	2-2 事業者の取組
	2-3 行政の取組
3 適正維持管理の推進	3-1 適正な収集・運搬体制の維持
	3-2 中間処理施設の適正管理

2 点検・評価の方法

各種施策の具体的な取組の実施状況について点検を行い、個別評価と総合評価として、下記の4段階で評価しました。

◎	実施又は実施中(順調に進捗している)
○	実施又は実施中(改善の余地あり)
△	実施に向け準備中
□	調査検討中又は未実施

各種施策の具体的な取組の成果を数値として捉えた指標の進捗状況について、経年比較し、下記の4段階で評価しました。

◎	数値目標に達している
○	数値目標に達していないが、前年度より目標年度の数値に近づいている
△	数値目標に達しておらず、横ばいである
□	数値目標に達しておらず、前年度より目標年度の数値から遠ざかっている

第2章 施策の実施状況について（ごみ処理）

基本方針1 2Rを意識した3Rの推進

【1-1 発生抑制・再使用・資源化の推進】

(1) 3Rに関する意識啓発活動の推進（計画書P62）

施策内容	① 3R意識の向上のための広報活動の実施			＜廃棄物対策課＞
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価	
1) 市政だよりや市HP等において3Rの取組を啓発	● 市政だよりに3Rの取組などを紹介する「クルちゃんのごみの話」を掲載 ・ 掲載回数：6回（令和4年度：6回）	◎	◎	

(2) 発生抑制・再使用の更なる推進（計画書P62）**重点項目**

施策内容	① 発生抑制・再使用の推進に繋がる意識啓発の実施			＜廃棄物対策課＞
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価	
1) リサイクルショップ・フリーマーケット活用の奨め （不要品の出品、再利用目的品の購買による再使用の推進）	● 令和5年8月に、株式会社ジモティーと「リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結し、締結についてのプレスリリースの実施及び市HP等でフリマアプリの活用を啓発	◎	◎	
2) リユース品交換制度活用の奨め （不要品の提供、利用による再使用の推進）	● 市HP及び市政だよりによりリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ● 市HP及び市役所1階ロビーにリユース品交換情報を掲載 実績（成立件数/登録件数） ・ 譲ります：15件/72件（令和4年度：4件/34件） ・ 譲って下さい：2件/7件（令和4年度：1件/16件）	◎		
3) 食品ロス削減に係る意識啓発の実施 （四街道市食べきり協力店事業、市内高等学校との連携によるイベント時の使いきり料理の販売、レシピの提供）	● 市HP及び市政だよりにより食べきり協力店の募集記事を掲載 ・ 食べきり協力店登録店舗数：24店舗（令和4年度：24店舗） ● 市産業まつりで市内大学と連携し、規格外の野菜等を活用した、食材使いきり料理の紹介及び販売（マフィン等、345個） （令和4年度：市産業まつりで市内大学と連携し、規格外品等の野菜を活用した、食材使いきり料理（マフィン等248個）を販売） ● 市HP等に食材使いきりレシピの紹介及び募集記事を掲載 ・ レシピ紹介数：19件（令和4年度：16件）	◎		

4)生ごみリサイクルの意識啓発の実施(生ごみ処理容器、発酵資材の提供)	●生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：54人(うち、講習会参加者：40人) (令和4年度：51人(うち、講習会参加者：41人)) ●生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回(参加人数：43名) (令和4年度：2回(参加人数：41名)) ●生ごみの堆肥化方法を、市公式YouTubeで紹介	◎	
-------------------------------------	---	---	--

施策内容	②発生抑制・再使用の推進のための制度の継続、充実、導入	＜廃棄物対策課＞
------	-----------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)家庭系ごみの処理手数料制度の導入	●令和2年9月、家庭系ごみ処理手数料制度を導入 ・家庭系ごみ排出量：17,318 t (令和4年度：18,102 t) 前年度比 △784 t (4.3%減)	◎	○
2)リユース品交換制度の継続、更なる充実	●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりによりリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ●(再掲(2)-①)市HP及び市役所1階ロビーにリユース品交換情報を掲載 実績(成立件数/登録件数) ・譲ります：15件/72件(令和4年度：4件/34件) ・譲って下さい：2件/7件(令和4年度：1件/16件)	◎	
3)良質な粗大ごみの補修・販売制度の導入	●他自治体で開設しているリサイクルプラザを参考に するなど、次期ごみ処理施設整備と一体で検討 (今後の対応)販売方法等について、本市で実施する場合 の問題点や他市の事例等を調査検討	□	
4)フードドライブの実施	●市及びイトーヨーカドー四街道店でフードドライブを実施し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付 ・寄付した食品数：7,691点(令和4年度：2,992点)	◎	

(3) 資源化の推進（計画書 P62）

施策内容		①資源化の推進に繋がる意識啓発の実施		＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1) 集団回収への協力要請	●市HP及び市政だよりに実施団体の募集記事を掲載 ・ 集団回収事業実施団体：59団体（令和4年度：63団体） ・ 回収量：671t（令和4年度：744t） ・ 実施団体への補助金額：3,376,370円（令和4年度：3,737,165円） ・ 資源組合への補助金額：3,272,980円（令和4年度：3,596,100円）	◎	◎		
2) 雑がみ分別の広報等	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載 ・ 雑がみ排出量：391.08t（令和4年度：375.33t） - 前年度比 15.75t（4.2%増）	◎			
3) プラスチック・ビニール類の更なる減量化、再資源化への取組	●令和5年2月から、市内公共施設2カ所で、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を実施 ・ 回収量：58.5kg ●「不燃ごみ」として収集していた製品プラスチックの一部を「プラスチック・ビニール類」として収集することを決定（令和4年度：「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い製品プラスチックの収集方法の変更を検討） ●社会福祉協議会が実施するペットボトルキャップの回収について、市役所1階ロビーにおいても回収を実施 ・ 回収量：1,060kg（令和4年度：1,420kg） ※市回収分を含む、社会福祉協議会の回収実績	◎			
4) 公共施設での小型家電の拠点回収	●平成27年1月から、市内公共施設10カ所で小型家電の拠点回収を実施 ・ 回収量：1.29t（令和4年度：1.02t）	◎			

【1-2 3R推進のためのしくみづくり】

(4)発生抑制・再使用のための側面支援（計画書 P63）**重点項目**

施策内容	①市民・事業者の発生抑制のための自発的活動の側面支援　　＜廃棄物対策課＞ （市民団体の生ごみ堆肥化事業、情報提供支援、生ごみ処理容器・発酵資材の提供）	
------	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)自発的活動を促進するための情報提供	●(再掲(2)-①)生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回(参加人数：43名) (令和4年度：2回(参加人数：41名)) ●(再掲(2)-①)生ごみの堆肥化方法を、市公式 YouTube で紹介	◎	◎
2)生ごみ処理容器・発酵資材を配布	●(再掲(2)-①)生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：54人(うち、講習会参加者：40人) (令和4年度：51人(うち、講習会参加者：41人))	◎	

施策内容	②エコショップ制度の側面支援　　＜廃棄物対策課＞	
------	--------------------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行う小売店を「エコショップ」として認定、市HPで紹介	●市HPに認定店の紹介及び募集記事を掲載 ・認定店舗数：6店舗(令和4年度：6店舗)	○	○

施策内容	③事業系ごみの分別の徹底及び資源物の自己処理の要請　　＜クリーンセンター＞	
------	---------------------------------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)事業系ごみの展開検査を実施し、搬入物について届出内容と相違がないか確認、不適正な搬入に対して分別指導	●許可事業者(22事業者)のうち、無作為に抽出した13事業者に対し展開検査及び分別指導を実施 ・展開検査件数/指導件数：13件/13件 (令和4年度：12件/12件)	○	○

施策内容	④家庭系ごみの処理手数料制度導入　　＜廃棄物対策課＞	
------	----------------------------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)家庭系ごみの排出を抑えるため、処理手数料制度を導入	●(再掲(2)-②)令和2年9月、家庭系ごみ処理手数料制度を導入 ・家庭系ごみ排出量：17,318t(令和4年度：18,102t) - 前年度比　△784t(4.3%減)	◎	◎

施策内容 ⑤拡大生産者責任の明確化		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)事業者の責任及び負担の明確化等について、拡大生産者責任の強化を国に要望	●本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に要望	○	○

施策内容 ⑥リユース品の交換制度の充実		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)市HPを通じた広報	●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりによりリユース品情報コーナーの紹介記事を掲載 ●(再掲(2)-①)市HP及び市役所1階ロビーにリユース品交換情報を掲載 実績(成立件数/登録件数) ・譲ります : 15件/72件(令和4年度: 4件/34件) ・譲って下さい: 2件/7件(令和4年度: 1件/16件)	◎	◎

施策内容 ⑦食べきり協力店制度の側面支援		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べ残しゼロ」を啓発	●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりにより食べきり協力店の募集記事を掲載 ・食べきり協力店登録店舗数: 24店舗 (令和4年度: 24店舗)	○	○

施策内容 ⑧雑がみ分別の支援		＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)雑がみを分別し排出することを周知	●(再掲(3)-①)市HP及び市政だよりにより啓発記事を掲載 ・雑がみ排出量: 391.08 t (令和4年度: 375.33 t) 前年度比 15.75 t (4.2%増)	◎	◎
2)雑がみの回収方法の検討	●雑がみ回収用の網袋による収集を開始 (令和4年度: モデル地区にて検証を行った後、雑がみ回収用の網袋をごみ集積所に配布し、回収することを決定)	◎	

(5) 資源化のための側面支援（計画書 P63）

施策内容	①広報手法や広報媒体の充実	＜クリーンセンター、廃棄物対策課＞
------	---------------	-------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の配信	●令和元年6月から、スマートフォンやタブレット端末から分別方法等を確認することができる、ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の配信を開始 ・登録件数：5,948件(令和4年度：4,592件)	◎	◎
2) 「さんあ〜る」ウェブ版の配信	●令和2年4月から、市HPにて「さんあ〜る」ウェブ版を配信	◎	
3) 「さんあ〜る」外国語版(4カ国語)を掲載	●令和元年6月から、「さんあ〜る」の外国語版(英語、中国語、韓国語、ペルシャ語)の配信を開始 ・登録件数：172件(令和4年度：122件)	◎	
4) プレスリリースの実施	●民間企業と連携した再資源化等の取組のプレスリリースを実施 内容：株式会社ジモティーとの協定締結について(令和4年度：H O Y A株式会社との協定締結について)	◎	

施策内容	②使用済みインクカートリッジの回収	＜廃棄物対策課＞
------	-------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市役所フロアに使用済みインクカートリッジ回収箱を設置	●令和3年10月から、市役所1階ロビーで使用済みインクカートリッジの回収を実施 ・回収量：4,069個(122kg) (令和4年度：2,670個(80.1kg))	◎	◎

施策内容	③廃乾電池の拠点回収の試行実施	＜廃棄物対策課＞
------	-----------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市役所廃棄物対策課にて廃乾電池を回収	●令和3年4月から、市役所1階ロビーで廃乾電池の回収を実施	◎	◎

基本方針2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(6) 循環型社会を構築するためのライフスタイルの転換（計画書 P64）

施策内容	①もったいない意識を常に心がける	＜廃棄物対策課＞	
------	------------------	----------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 3キリ(食材の使いきり、食べきり、水きり)について広報	●(再掲(2)-①)市産業まつりで市内大学と連携し、規格外の野菜等を活用した、食材使いきり料理の紹介及び販売(マフィン等、345個) (令和4年度：市産業まつりで市内大学と連携し、規格外品等の野菜を活用した、食材使いきり料理(マフィン等248個)を販売) ●(再掲(2)-①)市HP等に食材使いきりレシピの紹介及び募集記事を掲載 ・レシピ紹介数：19件(令和4年度：16件) ●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりに食べきり協力店の募集記事を掲載 ・食べきり協力店登録店舗数：24店舗 (令和4年度：24店舗) ●産業まつりで、「水きり」啓発のため、チラシ及び啓発品を配布 ・啓発品(水切りネット)配布数：63枚 (令和4年度：120枚)	◎	◎
2) フードドライブの実施	●(再掲(2)-②)市及びイトーヨーカドー四街道店でフードドライブを実施し、回収した食品を社会福祉協議会に寄付 ・食品数：7,691点(令和4年度：2,992点)	◎	

施策内容	②ごみ減量化、資源化等環境問題に関心を持つ＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞
------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施	●生涯学習まちづくり出前講座として見学会を実施 ・「ごみの減量とリサイクル講座」実施回数：0回 (令和4年度：1回(参加人数：9人)) ・クリーンセンター見学会実施回数：12回 (参加人数：小学校12校895人) (令和4年度：11回(参加人数：小学校11校833人))	○	◎
2) 小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施	●小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 ・授業の実施回数：3回 (参加人数：大日小学校4学年87人) (令和4年度：3回 参加人数：中央小学校4学年132人)	◎	

施策内容 ③市民団体の生ごみ堆肥化事業等への参加		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 生ごみの堆肥化に関心を持ってもらうため、講習会の開催及び生ごみ処理容器・発酵資材を配布	●(再掲(2)-①) 生ごみの減量を目的とした「ごみを減らそう講習会」を開催 ・開催回数：2回(参加人数：43名) (令和4年度：2回(参加人数：41名)) ●(再掲(2)-①) 生ごみ処理容器・発酵資材を市民に無料配布 ・配布人数：54人(うち、講習会参加者：40人) (令和4年度：51人(うち、講習会参加者：41人)) ●(再掲(2)-①) 生ごみの堆肥化方法を、市公式 YouTube で紹介	◎	◎

(7) 分別排出への協力（計画書 P64）

施策内容 ①分別を徹底し、異物混入を防止		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 分別が不十分な集積所の排出ごみについて、違反シールを貼付し、分別徹底を促す	●分別が不十分など不適正に排出されたごみ袋に、適正な排出を促すため、違反シールを貼付 ・シール貼付枚数：約 21,000 枚 (令和4年度：約 17,550 枚)	○	○

施策内容 ②雑がみを資源化するための分別の徹底		＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 雑がみを分別し排出することを周知	●(再掲(3)-①) 市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載 ・雑がみ排出量：391.08 t (令和4年度：375.33 t) 前年度比 15.75 t (4.2%増)	◎	◎
2) 雑がみの回収方法の検討	●(再掲(4)-⑧) 雑がみ回収用の網袋による収集を開始 (令和4年度：モデル地区にて検証を行った後、雑がみ回収用の網袋をごみ集積所に配布し、回収することを決定)	◎	

(8) 不法投棄防止への協力（計画書 P64）

施策内容		①不法投棄防止の視点での監視、通報の協力		＜廃棄物対策課、環境政策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)不法投棄禁止看板の設置	●市民からの要望などに応じ、不法投棄禁止看板を設置 ・不法投棄禁止看板設置・配布本数：32本 (令和4年度：40本) ・不法投棄禁止ラミネート配布枚数：68枚 (令和4年度：52枚)	◎	◎		
2)不法投棄のパトロール	●不法投棄等の監視を目的とする環境パトロールを実施 ・実施頻度：週5日程度(令和4年度：週5日程度)	◎			
3)市民や自治会、他部署からの通報を受けての現地確認	●市民や自治会などからの通報を受け、現地確認及び不法投棄の撤去を実施 ・対応件数：92件(令和4年度：96件)	◎			

【2-2 事業者の取組】

(9) 自己処理の原則に基づくごみ排出量減量化への協力（計画書 P64）

施策内容		①ごみの減量化、資源化計画の策定及び実施		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)多量排出者に該当する者等がいた場合における減量化、資源化計画の策定及び提出の指示	●四街道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第5条に規定する多量排出者について、該当者なし(適正な排出が行われている)	◎	◎		

(10) 拡大生産者責任による製品の製造・販売への配慮（計画書 P64）

施策内容		①不要となった製品の環境負荷に及ぼす影響が最小となる再使用可能部品の組み込みや処理処分の容易性を配慮して製品の製造・販売		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)事業者の責任及び負担の明確化等について、拡大生産者責任の強化を国に要望	●(再掲(4)-(5))本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に要望	○	○		

(11)環境保全・資源保全に関する取組の公表（計画書 P64）

施策内容 ①環境保全・資源保全に関する取組の公表		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)牛乳パック、トレイ等の店頭回収や商品の簡易包装等を行う小売店を「エコショップ」として認定、市HPで紹介	●(再掲(4)-②)市HPに認定店の紹介及び募集記事を掲載 ・認定店舗数：6店舗(令和4年度：6店舗)	○	○
2)市内飲食店を対象に「食べきり協力店」の募集・登録を行い、「食べきりゼロ」を啓発	●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりに食べきり協力店の募集記事を掲載 ・登録店舗数：24店舗(令和4年度：24店舗)	○	

【2-3 行政の取組】

(12)本計画の基本理念及び基本方針の周知（計画書 P64）

施策内容 ①ごみ処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者にも周知と行政の積極的行動		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)基本理念及び基本方針を市HPで紹介	●市HPに一般廃棄物処理基本計画を公表 ●市HPに令和4年度年次報告書を公表	◎	◎

施策内容 ②拡大生産者責任の働きかけを行う		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)事業者の責任及び負担の明確化等について、拡大生産者責任の強化を国に要望	●(再掲(4)-⑤)本市が加盟している「全国都市清掃会議」を通じ、国に要望	○	○

施策内容 ③出前講座等による市民・事業者への啓発活動＜廃棄物対策課、クリーンセンター＞			
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)生涯学習まちづくり出前講座を活用したごみ減量化・資源化等に関する講座、見学会等の実施	●(再掲(6)-②) 生涯学習まちづくり出前講座として見学会を実施 ・「ごみの減量とリサイクル講座」実施回数：0回 (令和4年度：1回、参加人数：9人) ・クリーンセンター見学会実施回数：12回 (参加人数：小学校12校895人) (令和4年度：11回(参加人数：小学校11校833人))	○	◎
2)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施	●(再掲(6)-②)小学校の授業での「ごみの減量と分別講座」の実施 ・授業の実施回数：3回 (参加人数：大日小学校4学年87人) (令和4年度：3回(参加人数：中央小学校4学年132人))	◎	

(13)計画達成のための具体的施策等の実践（計画書 P64）

施策内容 ①ごみ削減アイデア、実践事例を市民・事業者から広く募集し、応募者との意見交換等の交流を通して情報の共有を行い、実践事例等を市HPや産業まつりににおいて紹介 ＜廃棄物対策課＞			
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)ごみ削減の実践動画を市HP等に公開	●(再掲(2)-①)生ごみの堆肥化方法を、市公式YouTubeで紹介 ●市産業まつりにて、ごみの減量アイデアを募集し、実践事例を市HPで紹介 ●衣類のリユース、リサイクルについて市民団体や民間事業者と意見交換を実施	◎	◎
2)食品ロス削減のため、食材使いきりレシピの募集及び応募作品の公開	●(再掲(2)-①)市HP等に食材使いきりレシピの紹介及び募集記事を掲載 ・レシピ紹介数：19件(令和4年度：16件)	◎	

基本方針3 適正処理の構築

【3-1 収集・運搬の検討】

(14) 状況の変化に対応した収集・運搬の検討（計画書 P65）

施策内容	①家庭系ごみ処理手数料制度導入時の戸別収集の検討	＜廃棄物対策課＞
------	--------------------------	----------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 戸別収集を実施している自治体を参考に、課題や問題点等について調査研究を実施	●他市の事例を参考に、導入する際の問題点等について、調査・検討 (今後の対応)引き続き、本市での実施の可否について検討	□	□

施策内容	②粗大ごみの処理券の導入の検討	＜クリーンセンター＞
------	-----------------	------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 粗大ごみの処理手数料を「納付書方式」から事前に処理券を購入する「シール券方式」に変更することで、滞納を防ぐなど効率的な業務管理の実施に向けた検討	●「シール券方式」による粗大ごみ処理手数料の徴収を開始 (令和4年度:「シール券方式」の導入準備として、市HP等で市民への周知及びシール券を販売する市内の小売店等と契約を締結)	◎	◎

施策内容	③プラスチック・ビニール類の一括回収	＜クリーンセンター＞
------	--------------------	------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 令和4年4月施行「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づく、プラスチック・ビニール類の一括回収の実施検討	●(再掲(3)-①)「不燃ごみ」として収集していた製品プラスチックの一部を「プラスチック・ビニール類」として収集することを決定 (令和4年度:「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い製品プラスチックの収集方法の変更を検討)	◎	◎

(15) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P65）

施策内容 ①低公害型車両の導入誘導		＜クリーンセンター＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 収集業者に対する低公害型車両導入の推奨 ※マイルドハイブリッド収集車両の使用	●収集業者に対して、低公害型車両の導入の協力を要請 ・マイルドハイブリッド車両：4台(全車両 28 台) (令和4年度：4台)	○	○

【3-2 中間処理施設の整備】

(16) 新ごみ処理施設の整備の検討（計画書 P65）

施策内容 ①循環型社会推進のためのごみ処理システムの決定		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□

施策内容 ②次期ごみ処理施設の基本計画策定		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●(再掲(16)-①) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□

(17) エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備（計画書 P65）

施策内容 ①エネルギー回収型廃棄物処理施設(次期ごみ処理施設)の整備		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●(再掲(16)-①) ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□

施策内容	②生活環境影響調査、発注仕様書作成等エネルギー回収施設整備に係る事業の実施 ＜廃棄物対策課＞
------	---

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●(再掲(16)-①)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□

(18) マテリアルリサイクル推進施設の整備（計画書 P65）

施策内容	①マテリアルリサイクル推進施設(破碎、圧縮、選別、梱包施設、再生、保管、展示等リサイクル推進に資する施設)の整備 ＜廃棄物対策課＞
------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●(再掲(16)-①)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□

【3-3 最終処分の検討】

(19) 最終処分量の減量化の検討（計画書 P65）

施策内容	①焼却残渣の取扱について検討 ＜クリーンセンター＞
------	------------------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)現在、県外の自治体に搬出し、埋立て最終処分をしている焼却灰について、再生資材等として有効利用を行う事業者等の把握	●焼却残渣を再資源化(路盤材など)している事業者と契約を締結し、焼却残渣の一部を再資源化 ・再資源化量：288.55 t (令和4年度：焼却残渣を再資源化(路盤材など)している事業者を選定し、事業者の所在する自治体と事前協議を実施)	◎	◎

(20)最終処分方法の検討（計画書 P65）

施策内容		①災害廃棄物の最終処分対応について検討		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)平成 29 年度策定「四街道市災害廃棄物処理計画」における、木くず、金属くず、コンクリート片の再使用・再利用・再資源化についての検討	●市内に事業所を有する民間事業者と災害時における協力体制に関する協定を締結(令和 5 年 2 月)	○	○		

【3－4 適正な事業経営の推進】

(21)ストックマネジメント体制の整備（計画書 P65）

施策内容		①ストックマネジメント体制の整備		＜廃棄物対策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価		
1)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法の検討	●(再掲(16)-①)ごみ処理の広域化を含めた次期ごみ処理施設の整備手法について、関係区・自治会へ説明を行い、一定の理解を得る (今後の対応)整備手法の最終的な方針を決定したのち、ごみ処理システムを再構築	□	□		

第3章 施策の実施状況について（生活排水処理）

基本方針1 生活排水処理の推進

【1-1 公共下水道の普及】

(1) 経済的助成制度（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域での早期接続を誘導するため、「四街道市水洗便所改造資金助成条例」の周知を働きかける ＜下水道課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 水洗便所改造資金の助成の実施	●対象者無し ※当該助成金は、市が行う下水道の新規整備に伴い生じるもので、対象者がいた場合、個別に通知を実施	◎	◎

(2) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動を通して呼びかける ＜下水道課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 下水道の適正な利用と公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動の実施	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載、また市産業まつりで啓発活動を実施	◎	◎

【1-2 高度処理型合併処理浄化槽の普及】

(3) 経済的助成制度の周知（計画書 P87）

施策内容	①公共下水道供用開始区域外での高度処理型合併処理浄化槽への転換設置を誘導するため、「四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱」に基づき、転換設置者に対して経済的助成制度の活用を働きかける ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金交付要綱に基づき、補助要件を満たす高度処理型合併処理浄化槽へ転換設置する世帯に対して補助金を交付	●交付件数：4件(令和4年度：1件)	◎	◎

(4) 水環境の保全意識の向上（計画書 P87）

施策内容	①高度処理型合併処理浄化槽の普及が、水環境の改善及び保全に役立つことを、啓発活動を通して呼びかける ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)市窓口等で啓発リーフレット等を配布し、市政だよりや市HPに啓発記事を掲載するなど啓発活動を実施	●啓発リーフレットの配布及びポスターの掲示 ●市HPや市政だよりにより啓発記事を掲載	◎	◎
2)宅地開発業者に高度処理型合併処理浄化槽の設置を指導	●開発行為事前協議の際、宅地開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽の設置を住民などに呼びかけるように協力を要請 ・要請件数：6件(令和4年度：5件)	◎	

基本方針2 市民・事業者・行政の協働

【2-1 市民の取組】

(5) 循環型社会のライフスタイルへの転換（計画書 P88）

施策内容	①大量消費、大量廃棄の生活スタイルから資源を大切にし、資源の循環に配慮した消費活動やライフスタイルへ転換し、水環境の保全に努める ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)家庭における浄化槽の適切な維持管理を周知	●市HP及び市政だよりにより啓発記事を掲載	◎	◎

施策内容	②家庭でできる身近な生活排水対策を実践し、環境負荷軽減に努める＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)簡単に実践可能な生活排水対策を、市HPにおいて紹介	●市HPに生活排水対策が記載された市の環境白書を掲載	◎	◎

施策内容	③水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力 ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)市内各地域で行われる河川清掃等の環境美化活動への協力	●四街道自然同好会による山梨地区ホタル自生地の手入れ(年2回) ・市民参加人数：30人(令和4年度：29人) ●上手線川清掃活動(10月25日実施)への協力 ・市民参加人数：15人(令和4年度：18人)	◎	◎

(6) 生活排水対策の実施（計画書P88）

施策内容	①公共下水道供用開始区域については下水道への早期接続、区域外については高度処理型合併処理浄化槽の設置等、生活排水対策に努める＜環境政策課、下水道課＞
------	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 合併処理浄化槽の設置や、浄化槽の適切な維持管理について、チラシ等を活用した広報活動の実施	●チラシ等の配布、また市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載	◎	◎
2) 市政だよりや市産業まつりにおいて、公共下水道未接続の世帯に対する接続の啓発活動を実施	●(再掲(2)-①)市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載、また市産業まつりで啓発活動を実施	◎	

【2-2 事業者の取組】

(7) 自己処理の原則に基づく適正処理（計画書P88）

施策内容	①自己処理の原則に基づく、適正な排水処理及び環境負荷の低減 ＜環境政策課＞
------	---------------------------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市内（公共下水道供用開始区域外）に事業所の建設を予定している事業者に対し、雑排水等の処理には高度処理型合併処理浄化槽を用いるよう協力を要請	●開発行為事前協議の際、開発業者に対して高度処理型合併処理浄化槽を設置するよう協力を要請 ・要請件数：4件(令和4年度：3件)	◎	◎

(8) 環境保全・資源保全意識の向上（計画書P88）

施策内容	①事業者として環境保全意識及び資源保全意識の向上 ＜環境政策課＞
------	----------------------------------

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市内（公共下水道供用開始区域外）で使用済自動車の解体業を行う予定の事業者に対し、汚濁物質削減への協力を要請	●使用済自動車の解体業の許可申請の際に、千葉県を通じて、事業者に対し、施設内設備の適正な維持管理により、水質汚濁の原因となる物質を抑制するよう協力を要請 ・要請件数：10件(令和4年度：1件)	◎	◎

施策内容	②水環境の保全を目的とした地域の環境美化活動への協力		＜環境政策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価	
１）市内各地域で、事業者による河川清掃等の環境美化活動を実施	●市内事業者が環境美化活動を実施 ・事業者数：２者（令和４年度：４者）	◎	◎	

【2-3 行政の取組】

(9)本計画での基本理念及び基本方針の周知（計画書 P88）

施策内容	①生活排水処理の基本理念及び基本方針を市民、事業者に周知と行政の積極的行動 ＜環境政策課、廃棄物対策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)基本理念及び基本方針を市政だよりや市HPにおいて周知	●市HPに一般廃棄物処理基本計画を公表 ●市HPに令和4年度年次報告書を公表	◎	○
2)印旛沼流域環境・体験フェアに参加し、四街道市ブースでPRを実施	●印旛沼流域環境・体験フェア：未実施	△	

施策内容	②環境保全、生活排水処理に関する情報の提供		＜環境政策課＞	
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価	
１）市ＨＰにおいて市の環境（生活排水を含む）に関する情報を提供	●（再掲（５）-②）市ＨＰに生活排水対策が記載された市の環境白書を掲載	◎	◎	

(10)計画達成のための施策等の決定（計画書 P88）

施策内容		①各種施策の実施計画の策定及び予算の確保		＜環境政策課、廃棄物対策課＞	
具体的な取組		実施状況		個別評価	総合評価
1)生活排水処理実施計画の策定		●市HPに生活排水処理実施計画を公表		◎	◎
2)四街道市高度処理型合併処理浄化槽補助金の予算確保等を実施		●(再掲(3)-①)交付件数：4件(令和4年度：1件)		◎	

基本方針3 適正維持管理の推進

【3-1 適正な収集・運搬体制の維持】

(11) 状況変化に対応した適正な収集・運搬体制の維持（計画書 P89）

施策内容	①し尿及び浄化槽汚泥の収集量の変化に対応した、適正な収集・運搬体制を維持 ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市内で発生するし尿量及び浄化槽汚泥量と収集・運搬業者の収集能力を比較検討し、適正な体制を維持	●令和5年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、汚泥発生量と収集量を比較検討し、現状の体制が適正であると判断 ※許可の更新は、2年に1回	◎	◎

(12) 環境と安全に配慮した収集・運搬の実施（計画書 P89）

施策内容	①環境と安全に配慮した収集・運搬効率の向上 ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 許可業者の作業計画を分析し、収集・運搬効率の最適化	●令和5年度末の浄化槽清掃業等の許可更新時に、事業者の作業計画は問題ないものであると判断。また、収集車の更新時には環境に配慮した低公害型車両の導入を検討するよう依頼 ※許可更新は、2年に1回	◎	◎

【3-2 中間処理施設の適正管理】

(13) 浄化槽の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①法的に義務付けられている設置者の責務等について周知及び浄化槽の適正な維持管理の推進 ＜環境政策課＞		
具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1) 市HP等において、法令により定められている浄化槽の検査や清掃について広報を実施	●市HP及び市政だよりに啓発記事を掲載	◎	◎

(14) し尿・浄化槽汚泥の中間処理施設の適正な維持管理の推進（計画書 P89）

施策内容	①汚泥再生処理センターの適正な維持管理及び機能の保全 ＜環境政策課、印旛衛生施設管理組合＞		
------	--	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)汚泥を活用した肥料を市民農園等に配布し、再生汚泥の循環を実施	●印旛衛生施設管理組合にて、汚泥を活用した再生肥料を配布 ・四街道市民に配布した再生肥料の量：55.11 t (令和4年度：76.32 t) ※うち、市民農園で配布した再生肥料の量：1.98 t (令和4年度：1.90 t)	◎	◎

施策内容	②受入品質の変化に対応した適正処理（し尿の減少、浄化槽汚泥の量に適正に対応） ＜環境政策課、印旛衛生施設管理組合＞		
------	--	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)(14)-①の施策により、肥料の供給先を確保	●構成市町村に配布 ・構成市町村等に配布した再生肥料の量：410.37t (令和4年度：474.61t) ※うち、四街道市民に配布した再生肥料の量：55.11t (令和4年度：76.32t)	◎	◎

(15) 公共広域下水道施設の適正な維持管理（計画書 P89）

施策内容	①公共広域下水道処理施設の適正な維持管理 ＜下水道課、印旛流域下水道花見川終末処理場（公益財団法人千葉県下水道公社）＞		
------	--	--	--

具体的な取組	実施状況	個別評価	総合評価
1)下水道の適正な維持管理を、市HP等において周知	●施設見学、出張下水道教室、パンフレットの配布といった下水道知識の普及啓発事業を通して下水道の適正な維持管理を周知	◎	◎

第4章 指標の進捗状況について

指標の進捗状況の評価

●実績と数値目標(ごみ処理)

項目	当初計画 最終年度 の実績	前計画中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R 2 年度	R 5 年度	R 5 年度	R 7 年度
1人1日あたり 総排出量 (生活系ごみ+ 事業系ごみ)	832 g	793 g	759 g	726 g	755 g
1人1日あたり 家庭系ごみ排出量	554 g	497 g	498 g	491 g	495 g
リサイクル率	23.4%	26.4%	23.3%	22.7%	23.9%
最終処分率	9.9%	9.3%	9.3%	7.9%	9.2%

※1人1日あたり総排出量、1人1日あたり家庭系ごみ排出量、最終処分率は数値目標を下回ること、リサイクル率は上回ることを目指します。

※家庭系ごみとは、生活系ごみの内、資源物(資源物、有害ごみ)を除いたものです。

●実績と数値目標(生活排水処理)

項目	当初計画 最終年度 の実績	前計画中間 目標年度 の数値目標	評価年度の 数値目標	現状の 実績	最終年度 の数値目標
	H27年度	R 2 年度	R 5 年度	R 5 年度	R 7 年度
公共下水道 接続人口	77,182人	79,351人	79,560人	80,997人	79,699人
合併処理浄化槽人口	8,812人	10,590人	11,108人	11,479人	11,452人
単独処理浄化槽人口	1,928人	1,846人	1,796人	1,259人	1,763人
し尿汲み取り人口	3,519人	3,362人	3,267人	2,655人	3,204人

※公共下水道接続人口、合併処理浄化槽人口は数値目標を上回ること、単独処理浄化槽人口、し尿汲み取り人口は下回ることを目指します。

評価指標	1人1日あたり総排出量(生活系ごみ+事業系ごみ)			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		793 g	
	最終年度 (R7年度)		755 g	
実績値	H27年度	832 g	R2年度	822 g
	H28年度	829 g	R3年度	784 g
	H29年度	801 g	R4年度	765 g
	H30年度	794 g	R5年度	726 g
	R元年度	813 g		
進捗グラフ	(単位：g) —◆— 実績値 ---●--- 目標値			
評価	◎	実績値は、当該年度及び最終年度の目標値に達しています。主な要因は、市民のごみ減量意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入などにより生活系ごみ排出量が減少したことによるものです。		

評価指標	1人1日あたり家庭系ごみ排出量			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R2年度)		497 g	
	最終年度 (R7年度)		495 g	
実績値	H27年度	554 g	R2年度	564 g
	H28年度	552 g	R3年度	530 g
	H29年度	543 g	R4年度	516 g
	H30年度	540 g	R5年度	491 g
	R元年度	551 g		
進捗グラフ	(単位：g) —◆— 実績値 -●- 目標値			
評価	◎	実績値は、当該年度及び最終年度の目標値に達しています。主な要因は、市民のごみ減量意識の高まりや「ごみ処理手数料制度」の導入により可燃ごみの排出量が減少したことによるものです。		

評価指標	リサイクル率			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		26. 4%	
	最終年度 (R 7 年度)		23. 9%	
実績値	H27年度	23. 4%	R 2 年度	21. 1%
	H28年度	22. 5%	R 3 年度	21. 3%
	H29年度	22. 3%	R 4 年度	21. 7%
	H30年度	22. 9%	R 5 年度	22. 7%
	R元年度	21. 4%		
進捗グラフ	(単位：%) —◆— 実績値 ---●--- 目標値			
評価	○	実績値は、前年度と比べ1%上昇しており、目標値に近づいています。主な要因は、市民のごみの分別・リサイクル意識の高まりやこれまで埋立処分をしていた焼却残渣の一部を再資源化したことによるものです。今後も、目標値に達するため、市民・事業者・行政が一体となった一層の努力が必要です。		

評価指標	最終処分率			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		9.3%	
	最終年度 (R 7 年度)		9.2%	
実績値	H27年度	9.9%	R 2 年度	9.6%
	H28年度	9.5%	R 3 年度	9.1%
	H29年度	9.9%	R 4 年度	9.0%
	H30年度	9.1%	R 5 年度	7.9%
	R元年度	9.5%		
進捗グラフ	(単位：%) —◆— 実績値 ----●---- 目標値			
評価	◎	実績値は、当該年度及び最終年度の目標値に達しています。主な要因は、市民の分別・リサイクル意識の高まりやこれまで埋立処分をしていた焼却残渣の一部を再資源化したことによるものです。		

評価指標	公共下水道接続人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		79, 351人																																					
	最終年度 (R 7 年度)		79, 699人																																					
実績値	H27年度	77, 182人	R 2 年度	79, 567人																																				
	H28年度	77, 402人	R 3 年度	80, 759人																																				
	H29年度	77, 781人	R 4 年度	80, 951人																																				
	H30年度	78, 334人	R 5 年度	80, 997人																																				
	R元年度	79, 282人																																						
進捗グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>77,182</td><td>77,182</td></tr><tr><td>H28</td><td>77,402</td><td>77,402</td></tr><tr><td>H29</td><td>77,781</td><td>77,781</td></tr><tr><td>H30</td><td>78,334</td><td>78,334</td></tr><tr><td>R1</td><td>79,282</td><td>79,282</td></tr><tr><td>R2</td><td>79,567</td><td>79,421</td></tr><tr><td>R3</td><td>80,759</td><td>79,490</td></tr><tr><td>R4</td><td>80,951</td><td>79,560</td></tr><tr><td>R5</td><td>80,997</td><td>79,629</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td>79,699</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>79,699</td></tr></tbody></table> (単位：人) —◆— 実績値 ----●---- 目標値				年度	実績値	目標値	H27	77,182	77,182	H28	77,402	77,402	H29	77,781	77,781	H30	78,334	78,334	R1	79,282	79,282	R2	79,567	79,421	R3	80,759	79,490	R4	80,951	79,560	R5	80,997	79,629	R6		79,699	R7		79,699
	年度	実績値	目標値																																					
H27	77,182	77,182																																						
H28	77,402	77,402																																						
H29	77,781	77,781																																						
H30	78,334	78,334																																						
R1	79,282	79,282																																						
R2	79,567	79,421																																						
R3	80,759	79,490																																						
R4	80,951	79,560																																						
R5	80,997	79,629																																						
R6		79,699																																						
R7		79,699																																						
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、公共下水道接続区域の人口増加によるものです。																																						

評価指標	合併処理浄化槽人口			
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		10, 590人	
	最終年度 (R 7 年度)		11, 452人	
実績値	H27年度	8, 812人	R 2 年度	10, 634人
	H28年度	9, 277人	R 3 年度	10, 806人
	H29年度	9, 529人	R 4 年度	11,277人
	H30年度	10, 015人	R 5 年度	11, 479人
	R元年度	10, 308人		
進捗グラフ	(単位：人) —◆— 実績値 - - - ● - - - 目標値			
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達しています。主な要因は、公共下水道未接続区域の人口増加等に伴い合併処理浄化槽の設置者が増加したことによるものです。		

評価指標	単独処理浄化槽人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		1, 846人																																					
	最終年度 (R 7 年度)		1, 763人																																					
実績値	H27年度	1, 928人	R 2 年度	1, 618人																																				
	H28年度	1, 938人	R 3 年度	1, 340人																																				
	H29年度	1, 951人	R 4 年度	1, 259人																																				
	H30年度	1, 922人	R 5 年度	1, 259人																																				
	R元年度	1, 862人																																						
進捗グラフ	(単位：人) —◆— 実績値 ----●目標値 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (人)</th><th>目標値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>1,928</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>1,938</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>1,951</td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>1,922</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>1,862</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>1,618</td><td>1,846</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,340</td><td>1,829</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,259</td><td>1,813</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,259</td><td>1,796</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td>1,780</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>1,763</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (人)	目標値 (人)	H27	1,928		H28	1,938		H29	1,951		H30	1,922		R1	1,862		R2	1,618	1,846	R3	1,340	1,829	R4	1,259	1,813	R5	1,259	1,796	R6		1,780	R7		1,763
	年度	実績値 (人)	目標値 (人)																																					
H27	1,928																																							
H28	1,938																																							
H29	1,951																																							
H30	1,922																																							
R1	1,862																																							
R2	1,618	1,846																																						
R3	1,340	1,829																																						
R4	1,259	1,813																																						
R5	1,259	1,796																																						
R6		1,780																																						
R7		1,763																																						
評価	◎	実績値は、本年度も目標値に達していますが、実績値に変化が見られないことから、合併処理浄化槽等への転換等をより一層促進する必要があります。																																						

評価指標	し尿汲み取り人口																																							
数値目標	当初計画中間目標年度 (R 2 年度)		3, 362人																																					
	最終年度 (R 7 年度)		3, 204人																																					
実績値	H27年度	3, 519人	R 2 年度	3, 330人																																				
	H28年度	3, 515人	R 3 年度	2, 966人																																				
	H29年度	3, 645人	R 4 年度	2, 674人																																				
	H30年度	3, 466人	R 5 年度	2, 655人																																				
	R元年度	3, 393人																																						
進 捗 グラフ	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (人)</th><th>目標値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>3,519</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>3,515</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>3,645</td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>3,466</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>3,393</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>3,330</td><td>3,362</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,966</td><td>3,330</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,674</td><td>3,299</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,655</td><td>3,267</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td>3,236</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>3,204</td></tr></tbody></table> (単位：人) —◆— 実績値 —●— 目標値				年度	実績値 (人)	目標値 (人)	H27	3,519		H28	3,515		H29	3,645		H30	3,466		R1	3,393		R2	3,330	3,362	R3	2,966	3,330	R4	2,674	3,299	R5	2,655	3,267	R6		3,236	R7		3,204
	年度	実績値 (人)	目標値 (人)																																					
H27	3,519																																							
H28	3,515																																							
H29	3,645																																							
H30	3,466																																							
R1	3,393																																							
R2	3,330	3,362																																						
R3	2,966	3,330																																						
R4	2,674	3,299																																						
R5	2,655	3,267																																						
R6		3,236																																						
R7		3,204																																						
評 価	◎	実績値は、本年度も目標値に達していますが、実績値にほとんど変化が見られないことから、合併処理浄化槽等への転換等をより一層促進する必要があります。																																						

第5章 まとめ

各種施策の総合評価について、全 60 項目のうち、「◎」が 41 項目、「○」が 12 項目となっており、全体の約 88%で取組が実施できています。一方で、「□」が 7 項目となっており、その全てがごみ処理の「基本方針 3 適正処理の構築」で掲げられている施策です。特に「新ごみ処理施設整備の検討」については、今後、市の整備手法の最終的な方針を早期に決定するよう努めていきます。その他の項目についても、市民の意識・ニーズの変化、廃棄物の質的多様化など、社会の諸変化に応じて、新たな取組の導入や既存の取組の見直しを検討していきます。

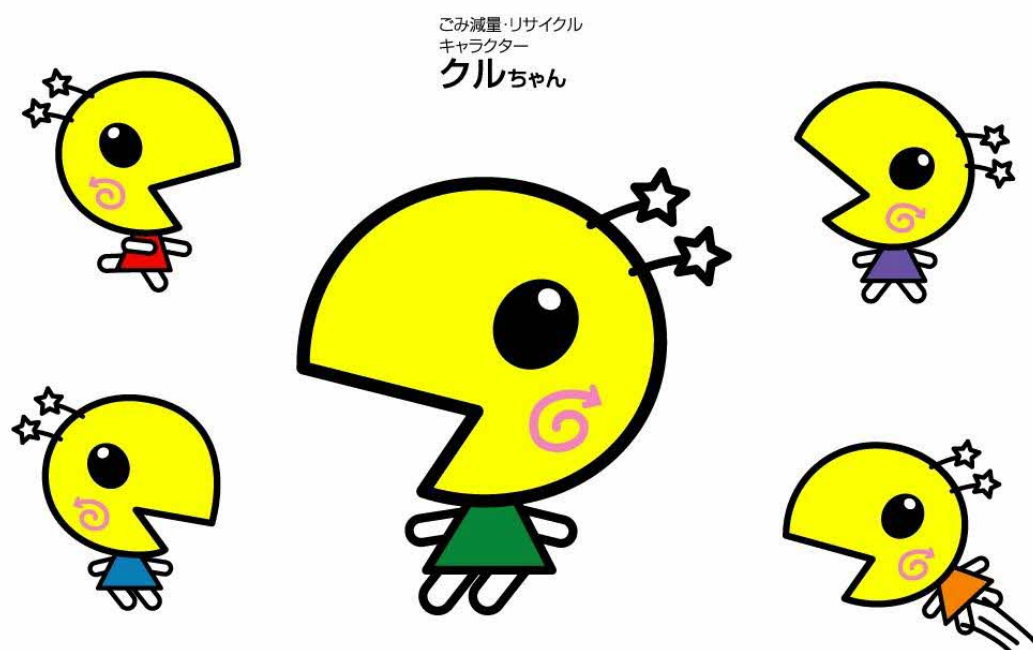
次に、指標の進捗状況の評価について、全 8 項目のうち、「◎」が 7 項目、「○」が 1 項目となっており、特に「◎」となった項目については、既に最終年度の目標値まで達しています。また、「○」となった「リサイクル率」についても数値は目標値に近づいており、今後も分別の周知・徹底や再資源化に取り組みやすい環境づくりに努めます。

●施策の評価一覧

基本方針		項目数	◎	○	△	□
ごみ処理	1 2Rを意識した3Rの推進	15	10	5	0	0
	2 市民・事業者・行政の協働	13	9	4	0	0
	3 適正処理の構築	12	3	2	0	7
生活排水処理	1 生活排水処理の推進	4	4	0	0	0
	2 市民・事業者・行政の協働	10	9	1	0	0
	3 適正維持管理の推進	6	6	0	0	0
合計		60	41	12	0	7

●数値目標の達成状況一覧

項目	達成状況
1 人 1 日あたり総排出量	◎
1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量	◎
リサイクル率	○
最終処分率	◎
公共下水道接続人口	◎
合併処理浄化槽人口	◎
単独処理浄化槽人口	◎
し尿汲み取り人口	◎



四街道市一般廃棄物処理基本計画

令和5年度 年次報告書

令和6年12月

発行 四街道市環境部廃棄物対策課

千葉県四街道市鹿渡無番地

TEL 043-421-6132

FAX 043-424-2013